

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【公開番号】特開2015-125413(P2015-125413A)

【公開日】平成27年7月6日 (2015.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2015-043

【出願番号】特願2013-271833(P2013-271833)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 7 4

G 0 3 G 9/08 3 3 1

G 0 3 G 9/08 3 8 1

G 0 3 G 9/08 3 6 5

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結着樹脂、ワックス、および着色剤を含有するトナー母粒子と、窒化ホウ素粒子とを混合し、その後、熱風により前記トナー母粒子の表面処理を行うことにより得られるトナー粒子を含むトナーであって、

前記結着樹脂は、

ポリエステル樹脂を含有し、

酸価が 5 m g K O H / g 以上であり、

前記窒化ホウ素粒子は、

一次粒子の個数平均径が 0 . 0 2 μ m 以上、1 . 0 0 μ m 以下であり、

前記窒化ホウ素粒子の質量を基準とした C a 、M g 、および A l の合計の含有量が 5 0 p p m 以上、1 0 0 0 0 p p m 以下であることを特徴とするトナー。

【請求項 2】

前記熱風の温度が、前記結着樹脂の軟化点以上である請求項 1 に記載のトナー。

【請求項 3】

前記窒化ホウ素粒子の含有量が、前記トナー母粒子 1 0 0 質量部に対して、0 . 1 質量部以上、5 . 0 質量部以下である請求項 1 または 2 に記載のトナー。

【請求項 4】

結着樹脂、ワックス、および着色剤を含有するトナー母粒子と、窒化ホウ素粒子とを有するトナー粒子を含むトナーであって、

前記窒化ホウ素粒子は、前記トナー母粒子の表面に溶融固定化されており、

前記結着樹脂は、

ポリエステル樹脂を含有し、

酸価が 5 m g K O H / g 以上であり、

前記窒化ホウ素粒子は、

一次粒子の個数平均径が0.02 μm以上、1.00 μm以下であり、
前記窒化ホウ素粒子の質量を基準としたCa、Mg、およびAlの合計の含有量が5
0 ppm以上、10000 ppm以下である
ことを特徴とするトナー。

【請求項5】

結着樹脂、ワックス、および着色剤を含有するトナー母粒子と、窒化ホウ素粒子とを有
するトナー粒子を含むトナーの製造方法であって、

前記トナー母粒子と、前記窒化ホウ素粒子とを混合し、その後、熱風により前記トナー
母粒子の表面処理を行う工程を有し、

前記結着樹脂は、

ポリエステル樹脂を含有し、

酸価が5 mg KOH / g 以上であり、

前記窒化ホウ素粒子は、

一次粒子の個数平均径が0.02 μm以上、1.00 μm以下であり、

前記窒化ホウ素粒子の質量を基準としたCa、Mg、およびAlの合計の含有量が5
0 ppm以上、10000 ppm以下である
ことを特徴とするトナーの製造方法。